

SPAC インクルーシブシアター てあとるてをとる 『ちかくにあるとおく ～鏡の国のアリスより～』

世界トップレベルの創造性を活かし、SPAC が贈るインクルーシブな「観劇体験」

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPAC では昨年より、舞台芸術にふれる機会が少ない方々にも楽しんでいただける演劇作品を創造・上演するプロジェクトとして、**SPAC インクルーシブシアター「てあとるてをとる」**を立ち上げました。赤ちゃんからからお年寄りまで、また障がいを持つ方々とそのご家族や介助者に寄り添いながら、あらゆる人と「豊かな観劇体験」を共有することを目的としています。

本プロジェクト1作目として創作・上演された『ちかくにあるとおく～鏡の国のアリスより～』を再演いたします。本作は、ルイス・キャロルの児童小説『鏡の国のアリス』から着想を得て創作され、馴染みのあるキャラクターやモチーフも登場。観客も物語の一部となり、不思議な登場人物たちと「当たり前が当たり前ではない」空想の世界を冒険していきます。昨年の公演の際には、リラックスして鑑賞できる開放的な空間での公演を喜ぶ声や、「乳幼児も大人もあつという間に作品世界に引き込まれた」といった感想が寄せられました。

SPAC の世界トップレベルの創造性を活かし、本作では視覚や聴覚に障がいを持つ方々にも多感覚的に楽しんでいただける工夫がちりばめられています。構成・演出は、多くの SPAC 作品で舞台美術を手掛けてきた深沢襟が務め、現実と空想を行き来するかのように形を変える美術や、光と音による演出で観る者の想像力をかき立てます。また、棚川寛子の心地よい音楽と歌も楽しめる音楽劇仕立て。三島景太の迫力ある生演奏や、森山冬子と鈴木真理子の優しい歌声が空想世界の不思議な冒険へと誘います。

言葉に頼ることなく、誰もが五感で楽しめるインクルーシブシアターは、これまでの演劇・観劇のあり方を問い直す SPAC の新たな試みです。つきましては、皆様のご紹介を賜りたく、ご案内申し上げます。



SPAC インクルーシブシアター てあとるてをとる 『ちかくにあるとおく ～鏡の国のアリスより～』

構成・演出・美術：深沢襟 音楽：棚川寛子
出演：鈴木真理子、三島景太、森山冬子

公演日時

◆ベビー向け公演（0歳3カ月～3歳未満）：

7月22日（土）10:30 開演
24日（月）10:30 開演

◆バリアフリー公演（3歳以上～）：

7月22日（土）15:00 開演
23日（日）10:30/15:00 開演
24日（月）15:00 開演

会場 静岡芸術劇場 1F ロビー

本公演でのバリアフリーの取り組みについて

- 会場には案内スタッフ、手話通訳がいます。
- 補助犬をご同伴の方もご来場いただけます。
- 演当日お手伝いが必要な方は、事前に SPAC チケットセンターまでご連絡ください。
- 車椅子のままご観覧いただけます。
- 車椅子の貸し出しをしています。

★ 音声ガイド（日本語のみ）の貸し出しあり。
事前に SPAC チケットセンターまで電話にてご連絡ください。

- 車椅子でも使えるトイレは、劇場ロビー1F と 2F にあります（エレベータあり）。
- 劇場の入口から近い「ゆずりあい駐車場」はグランシップ東側に2台、西側に7台あります。
- おむつ替え・授乳スペースが施設内にあります。

「てあとるてをとる」に関するお問合せや取材のお申込みは、SPAC 広報担当 計見までご連絡下さい。

Tel : 054-202-4008（舞台芸術公園） / Fax : 054-203-5732 / E-mail : keimi@spac.or.jp

【構成・演出・美術】

深沢 襟 (ふかさわ・えり)



静岡生まれ。舞台美術家。武蔵野美術大学で舞台美術家・高田一郎、小竹信節に師事する。2000年に劇団「ク・ナウカ」に入団、演出と舞台美術の研鑽を積む。2006年よりSPACに参加。戯曲、演出のイメージのみ

ならず、立ち回る俳優との関係性から空間を創り上げる舞台美術が特徴。近年は、SPAC以外の舞台へも活動の幅を広げている。SPACでは、『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』『真夏の夜の夢』『グスコブドリの伝記』（以上、演出：宮城聡）などのほか、『変身』（演出：小野寺修二）、『病は気から』（演出：ノゾエ征爾）などの舞台美術を手がける。

【音楽】

棚川寛子 (たなかわ・ひろこ)



舞台音楽家。演劇作品の音楽を作曲し、俳優への演奏指導を併せて行うスタイルで活動している。主な作品に『マハーバーラタ』『アンティゴネ』（演出：宮城聡）などがある。また、小学校や児童養護施設でのワーク

ショップを行うなど、精力的な活動を続けている。正規の音楽教育をまったく受けていない、いわばこの分野での“アウトサイダーアーティスト”ともいえる稀有な存在である。

【出演】

鈴木真理子 (ひつじ／白の女王)

三島景太 (ぼうし屋／ブック)

森山冬子 (フラワー／赤の女王)

<スタッフ>

衣裳デザイン：駒井友美子

演出部：藤代修平

美術担当：佐藤洋輔、吉田裕梨

ワードローブ：牧野紗歩、清千草

制作：仲村悠希、計見葵

協力：スロームーブメント静岡実行委員会

宣伝美術：HAHAHANO.LABO

製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援）） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

「てあとるてをとる」に関するお問合せや取材のお申込みは、SPAC 広報担当 計見までご連絡下さい。

Tel : 054-202-4008 (舞台芸術公園) / Fax : 054-203-5732 / E-mail : keimi@spac.or.jp

チケット料金 (税込)

料金 0歳～18歳未満：500円

18歳以上：1,500円

予約方法

SPAC チケットセンター

◎電話：054-202-3399

◎窓口：静岡芸術劇場チケットカウンター

(10:00～18:00・休業日7/11を除く)

◎ウェブ予約：<https://spac.or.jp/ticket>

お問い合わせ

SPAC-静岡県舞台芸術センター

電話：054-203-5730 / FAX：054-203-5732

E-mail：mail@spac.or.jp



▲昨年の上演の様子（バリアフリー公演）撮影：平尾正志

県内の特別支援学校等での上演予定

7月5日（水） 藤枝市立朝比奈第一小学校

7月6日（木） 静岡県立中央特別支援学校

7月14日（金） 静岡県立沼津特別支援学校

7月18日（火） 静岡県立富士特別支援学校

*学校への立ち入りを制限している場合がございますので、取材をご希望の際は事前にご連絡をお願いいたします。